



男子優勝・東京大学のウイニングラン。史上タイの三連覇達成。

男子・東大三連覇！ 女子・ 東北大7年ぶりの優勝

2016年3月13日(日) 栃木県塩谷町
日本学生オリエンテーリング選手権大会
リレー競技



東京大学男子1走・祐谷大輝、宙に舞う

圧勝・東京大学

予想以上の強さを東京大学が見せつけた。1走からトップで2走につなぐと、そのまま一度もトップを譲ることなくウイニングランへ。2位の京都大学と7分差をつけて圧勝した。

東京大学男子が凄いのはそれだけで

8 orienteering magazine 2016.04

はない。学生一般クラスのAクラスで東京大学は3位までを独占し、5位も東京大学のチームが入っている。この層の厚さを見ると、優勝は当然のように思えてくる。それだけ東京大学は部内の競い合いが激しく、切磋琢磨する環境にあるのだ。



東京大学男子2走・猪俣祐貴から、3走・福井悠太へチェンジオーバー。すでに独走。

未体験の四連覇へ

三連覇は史上タイ。来年優勝すれば史上初の四連覇となる。このままの強さを東京大学が維持するのか？ 他大学はもっと意地を見せてほしい。



京都大学3走・小野真嗣。
4位から2位まで順位を押し上げた。
2位が確定し、涙が溢れる。



男子選手権のスタート。
ミスが許されないリレーでは
全体的に慎重なペースでスタート。

2015 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 リレー競技部門結果

女子

1	東北大学	2:06:45	長谷川真子-伊佐野はる香-本間実季
2	立教大学	2:12:02	松島彩夏-木村るび子-宮川早穂
3	椋山女学園大学	2:15:21	伊東佑子-神谷玲花-守屋舞香
4	東京大学	2:19:54	増田七彩-梶原裕希-伊東瑠実子
5	筑波大学	2:21:44	増山春菜-宮田優花-山岸夏希
6	大阪大学	2:28:20	帯金未歩-野田桃子-阿部ちひろ

男子

1	東京大学	2:03:31	祐谷大輝-猪俣祐貴-福井悠太
2	京都大学	2:10:24	五百倉大輔-糸井川壮大-小野真嗣
3	東北大学	2:11:11	橋本正毅-原田龍馬-小林隆嗣
4	横浜国立大学	2:12:58	橋孝祐-稲森剛-東将央
5	新潟大学	2:14:40	高野兼也-清水健司-菅野柗斗
6	東京工業大学	2:17:09	芳賀太史-西村駿-戸上直哉



東北大学女子2走・伊佐野はる香から、3走・本間実季へチェンジオーバー



東京大学女子1走・増田七彩から梶原裕希

オリエンテーリングの甲子園に

「塩谷町をオリエンテーリングの甲子園に」。今回インカレリレーを会場で視察した塩谷町の関係者と話したときそういったアイデアが出てきた。

このインカレをきっかけに栃木県塩谷町で地図が整備される。その結果、ここでオリエンテーリングが行われる機会は増えるだろう。こうした動きを地元が応援してくれるなら、これほどありがたい話はない。

昨夏に塩谷町にオリエンテーリング活動の拠点を置いたヤマカワオーエンタープライズ社の活動と相まって、この地区でのオリエンテーリング活動は高まっていきそうな予感だ。

(木村佳司)



初入賞の大阪大学女子。喜びの涙が流れる。

7年ぶり東北女子優勝

誰が東北大学の女子優勝を予想していただろう。今回女子リレーでは優勝予想はかなり難しかった。いくつかの大学の実力が拮抗していたからだ。しかしその中でも東北大学の名前はなかなか出てこなかった。エース不在だったからだ。

しかしながら東北大学は絶対的エースこそいないもののメンバー3人が高い能力を維持していた。その結果、総合力でエースを擁する他校に競り勝ち栄冠を手に入れた。



東北大学女子優勝確定直後のインタビュー
長谷川真子、伊佐野はる香、本間実季
涙が止まらない。

仲間と掴んだリレーのメダル

女子2位に入ったのは、宮川早穂率いる立教大学。宮川は大学1年のときからインカレ個人戦では活躍してきたが、同じ大学のメンバーが少なく、今までインカレリレーに正規チームで参加したことは無かった。過去には大学混成チームでトップタイムを叩き出したことはあったが、それも表彰対象外だった。

だが4年生となった最後のインカレは違った。立教大学の中で仲間を集め、人数を揃えて立教大学チームとしてインカレリレーに臨んできた。これだけでも充分感慨深いものがあっただろう。それが準優勝という結果まで付いてきたのだ。表彰式で見せた宮川の涙はやっと願いが叶った嬉しさの涙だった。



立教大学2走・木村るび子から宮川早穂へ